



発行日 平成29年4月11日



No.1

平成29年度の出発にあたって

出会いを通して心を養い 考えを深め 生き方を探る

—地域の学校、そして、子どもは地域の宝—

校長 宮 居 伝

昨年4月に赴任し、みなさま方のご理解とご協力により、ここに二年目を迎えることができました。素直で明るい子どもたちに囲まれ、この能登川南小学校で引き続き学校経営をさせていただくことができ、大変うれしく思うと同時に、責任の重さをひしひしと感じています。

新年度は、新しい出会いによって始まります。「人の一生は出会いを通して、心を養い、考えを深め、生き方を探る」と言われます。このことは、子どもを指導する立場として心に焼きつけておく必要があると思っています。そして、教師と子どもと保護者・地域のみなさまが「お互いに、よい出会いであった」と言えるようでありたいと願っています。

教育の歩みは、とすると、一年一年が年中行事の繰り返しのようには思われることもありますが、子どもにとっては、まさに「ひとつひとつが全く新しい体験であり経験となっていく」ということを深く認識し、日々新たな気持ちで指導にあたらなければならないと考えています。

この一年間、学校教育目標である『豊かな心とたくましい体をもち 意欲的に行動する児童を育てる』に向け、教職員が一丸となって全力を尽くしていきたいと思っています。

そこで、子どもたちには、4月10日の始業式のなかで、次の三つのことを話しました。

□『よく学び、よく遊べ（いっぱい勉強していっぱい遊んでほしい）』

勉強も遊びも、自分にできる精一杯の頑張りをしていると、「やった！できた！」ということが、きっと、いっぱいできます。そして、「やった！できた！」と言えるまでには、ちょっとした我慢と頑張りが必要です。このことは、ひとつ大きくなった学年でも、ぜひ続けて頑張ってもらいたいと思います。

□あいさつが響く能登川南小学校

「能登川南小学校の子どもたちは、素直で、よく挨拶ができますね。」といううれしいお話を、地域の方からよく聞きます。確かにそうだなと感じています。「おはようございます」「こんにちわ」などのあいさつ、そして、「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉が素直に言える子どもになってほしいと思います。

□やさしさやおもいやりがいっぱいの学校

新しい学年になりました。新しい出会いの始まりです。この出会いを大切に、一人でも多くの友達となかよくできるように、言葉や行動を大切に、毎日の学校生活を送ってほしいと思います。

これらのことは、本校の教職員が大切にしている「やった！できた！が実感できる魅力ある授業づくり」「自分も友達も大切にできる集団づくり」がベースになっています。

最後になりましたが、私たち教職員は、二十一世紀に活躍する貴重な人材をお預かりしているという重責を担っており、一丸となって職責を果たすつもりです。地域の多くのみなさま方で学校を支援していただき、より多くの目と心で子どもたちを見守っていただければ幸いです。地域の学校として、そして、子どもは地域の宝として育てていただければと切に願っております。

本年度も、どうかよろしく願いいたします。

連絡とお願い

今年度も、学校だよりや学年・学級通信、ホームページで、子どもたちの学校生活の様子を、保護者や地域のみなさまに写真でも紹介していきたいと考えています。写真の掲載等について、何かありましたら、ご連絡ください。

「新学級児童名（児童昇降口張り出し名簿）をスマートフォンで撮影し、SNSを通してのやりとりがあるようで気になりました。」との連絡を、昨日、学校にいただきました。個人や個人情報に関わる内容の取り扱いにつきましては、十分にご配慮いただきますようお願いいたします。